

ニュートリノで宇宙を観る

— 2015年ノーベル物理学賞の業績に因んで —

講演者： 岡山大学理学部附属 量子宇宙研究センター特任教授 吉村 太彦

講演日時： 2015年10月22日 午後6時—7時30分

講演場所： 香川大学幸町キャンパス 北4号館411講義室

講演要旨

本講演では、人類のミクロとマクロの観測手段（電磁波、ニュートリノ）がいかに発達してきて、宇宙の理解を深めたかをわかりやすく解説する。そのなかで、小柴昌俊氏と梶田隆章氏らのノーベル賞業績がもつ意義を解き明かす。

最後に、岡山大学でのチャレンジも紹介する。



2002年ノーベル物理学賞
小柴昌俊氏



Photo © Takaaki Kajita

2015年ノーベル物理学賞
東京大学宇宙線研究所所長
梶田隆章氏